

片瀬のぞみだより

宗教法人日本基督教団片瀬教会付属

片瀬のぞみ幼稚園

2024年10月号

家庭通信 2024 No.14

「片瀬のぞみスタイル」

毎年、この時期になると保護者の方々と共通理解をしておきたいことがあります。それは、片瀬のぞみ幼稚園の運動会への向かい方です。片瀬のぞみ幼稚園では、「練習」という言葉をあまり使いません。後になるに連れて「見て欲しい、強くなりたい。」気持ちが強くなって「じゃあ、もっと上手に！もっと強く！」ということで「練習」をしていくことはあります。しかし、「運動会の練習をしましょう！」と子どもたちに投げかけることはまずありません。この時期、やっと涼しくなり子どもたちも体を活発に動かします。すると、どこからか「よーい・どん！！」という声が聞こえ始めます、かけっこです。初めてのかけっここのひよこさん、「それ知ってる。」と教えてくれるすずめさん、「わたしたち、こんなにはやいんだよ。」とかっこいい姿を披露してくれるはと組の姿が見られます。そこにみんなで頑張ろうあの合図「エイ・エイ・オーッ！！」が加わると誰かの口から「ねえ、うんどうかいみたいじゃない。」と聞こえてきます。すると、「たまいれ～、つなひき～、ぱんくいきょうそう～、りれ～・・・」と自分が知ってる運動会が幼稚園中に溢れだし、幼稚園は、毎日が運動会になります。玉入れ運動会、ダンス運動会・・・ちよびっと運動会なんていうかわいいフレーズもこれを書いている時に聞こえています。そうして、運動会を毎日行っていくと幼稚園では狭すぎる、こんなに素敵になったから見せたいなど運動会への思いがどんどん大きくなって、保護者へお伝えしている予定の日への開催に至るわけなのです。だから、子どもたちに「運動会の練習、頑張ってる？」とか「12日、応援に行くからね。」という言葉がけは「???」になってしまうのです。

子どもたちから出た言葉や思いから生まれ、それが大きな流れになって、すごいことになった体験を子どもたちに経験してもらいたいのです。だから、子どもたちが自分の力で創りあげる過程をととても大切にしています。そして、子どもたちの大好きがたくさん詰まった運動会にしてあげたいと毎年願いながら進めています。運動会に限らず片瀬のぞみ幼稚園での生活やクラスでの活動、友だちとの関わり合いすべてにおいて、できるだけ子どもたちが創りあげていけるような環境を整えられるよう努めています。子どもたちの自発的な思いや言葉や動きを、ときには時間をかけながら進めていくことこそまさに「片瀬のぞみスタイル」といえるのではないのでしょうか。どうか、みなさんお付き合いくださいませ。

このあとののぞみ先生ののぞみだよりにも「運動会」に向けて進んでいくはと組らしい姿が書かれています。同じテーマや内容が重複しないように子どもたちの様々な姿をお知らせすることを意識して書いているのぞみだよりです。しかし、今回は「運動会」を通して園として大切にしているところとクラス(年長児)にとって大切にしているところがまさに「片瀬のぞみスタイル」として言葉に表されているので、ぜひそのままのぞみ先生の「頭の知識ではなく 心の知識を！！」をご覧ください。

園長 横山 流

